



◀▼子どもたちが夢中になって大きいブルーベリーを探していました

夏の味覚を楽しむ さくらこども園

8月4日、農業法人の花雅(幸野)のブルーベリー園で、さくらこども園の4~5歳児21人がブルーベリー摘みを楽しみました。園児たちは「甘い」「おいしい」とブルーベリーをほお張りながら、おみやげ用の袋がいっぱいになるまでブルーベリーを詰め込んでいました。

鉄人たちのレース支える 猪苗代高校

町内などで8月24日に開催された第16回うつくしまトライアスロンin あいづには、猪苗代高校のJRC委員会やスキー部などの生徒約20人がボランティアとして参加し、鉄人たちのレースをサポートしました。参加した生徒らは、天神浜で会場設営や受付、給水などを担当。若者らしい爽やかな対応で、過酷なレースに挑む選手たちを元気づけました。



スイムを終えた選手にドリンクを配る生徒たち



自分たちで育てた野菜を収穫する喜びは格別です

収穫の喜び味わう さくらこども園

さくらこども園では8月8日、年長児たちが野菜を収穫しました。園児たちは、JAあいづ青年連盟猪苗代地区のメンバーたちから手ほどきを受けながら、ピーマンやトウモロコシなどを収穫して、自分たちで育てた作物を収穫する喜びを味わいました。特にピーマンが豊作で、大きいものがゴロゴロ。自分の顔ほどの大きさに育ったピーマンを見て大興奮の様子でした。



町役場近くを清掃する団員と保護者

みんなで町をきれいに 猪苗代スポ少

猪苗代スポーツ少年団は8月21日、毎年恒例となっている町内の清掃活動を実施しました。猪苗代小に集まった1年生から6年生までの団員約50人が、2班に分かれて清掃を開始。保護者らと共に同校や町役場の周辺、商店街などを歩き、熱心にごみを拾い集めました。団員たちは「タバコや空き缶のポイ捨てが多い。町が汚れるのでやめてほしい」と話しました。

最近、歌や音楽に興味を持ち始めた里舞ちゃん。「大好きな『おかあさんといっしょ』が始まるとニコニコ笑いながら見えています」とママの利枝さんは話します。

自動車整備士のパパ、正人さんが働く工場は自宅のすぐ隣。この夏は、里舞ちゃんが工場にあるパラソルの下で、よく水遊びを楽しんでいたのだとか。「子どもの顔を見ながら仕事ができるのはいいですね」とパパの正人さんは頬を緩めます。

おじいちゃん、おばあちゃんとも仲良しで、おばあちゃんの顔を見ると抱っこをおねだり。ごはんは、おじいちゃんの膝の上で食べます。

いつも元気いっぱいの里舞ちゃん。家族みんなの愛情を受けて、すくすく成長中です。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62)2111



大好きなパパとママの間でごきげんな里舞ちゃん

元気いっぱい、すくすく成長中の里舞ちゃん。パパは「これからいろいろな所に行って、いろいろなものを見せてあげたい」、ママは「雪が積もったら、一緒に雪遊びをしたい」と話しています。

金田 里舞 ちゃん

平成25年12月生まれ

～扇田

正人さん・利枝さん夫婦の長女

農業に親しんで

JAあいづ青年連盟(農青連)猪苗代地区と農青連キャベツ研究会は8月17、18の両日、町内で農業体験ツアーを実施しました。

農業に親しんでもらうとともに、町内の農産物の安全性について理解を深めてもらおうと企画。東京都、神奈川県などから8人が参加し、野菜、花の収穫や稲への農薬散布などを体験しました。キャベツ研究会の畑では、キャベツの苗の定植も行いました。

17日の夜には、意見交換会を開催。参加者とメンバーたちが酒を酌み交わしながら親睦を深めました。

10月には、今回植えたキャベツの収穫や稲刈りなどを体験するツアーが開催される予定です。

農青連猪苗代地区委員長の渡部雅幸さん(幸野)は「この取り組みによって、猪苗代で就農する人が一人でも出てくれればうれしい」と話しました。



親子で参加
西山育己さん、哲平さん(東京都)

○生産者の皆さんがとても温かく迎えてくれて、すごく楽しかったです。都合がつけば、10月のツアーもぜひ参加したいです。(育己さん)
○都内の農業高校に通っています。学校で教わったやり方と全然違って、とても面白かったし、勉強になりました。猪苗代の広々とした環境も良かったです。(哲平さん)



ツアー2日目、キャベツの定植作業後に記念撮影。参加者の笑顔から満足の高さがうかがえます

農青連が農業体験ツアー開催